

都市再生整備計画 事後評価シート
高槻駅周辺地区(2期)
(都市再構築戦略事業)

平成29年6月
大阪府高槻市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	高槻市		地区名	高槻駅周辺地区(2期)(都市再構築戦略事業)		面積	683ha
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1774.4百万円	国費率	0.488	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(JR高槻駅南駅前広場再整備、高槻町1号線道路改良、高槻町6号線道路改良、高槻町7号線道路改良)、生活基盤施設(案内表示板(サイン)整備、音声案内装置設置)、高質空間形成施設(JR高槻駅南人工デッキ美化、エスコートゾーン設置)、高次都市施設(桃園コミュニティセンター設置)							
		提案事業	事業活用調査(おでかけマップ作成、自転車走行空間検討、中心市街地舗装高度化)、まちづくり活動推進事業(観光情報広域発信事業、中心市街地活性化・賑わい創出事業)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	高槻町7号線道路改良(工事)	削除/追加の理由	関係者との調整に伴い事業を延期	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	指標「道路の満足度」の目標値について、60%から57.2%に変更。		
		提案事業	おでかけマップ作成、自転車走行空間検討、中心市街地舗装高度化、観光情報広域発信事業、中心市街地活性化・賑わい創出事業	都市再生整備計画を地方都市リノベーション事業に拡充し、提案事業の対象外となったため削除	—					
	新たに追加した事業	基幹事業	城西町たんぼ公園改修事業、JR高槻駅周辺公共サイン整備、高槻市立文化会館文化ホールバリアフリー化事業、真上保育園分園新築事業	・にぎわいのある駅周辺のまちづくりに向けて、桃園コミュニティセンターの整備に合わせて公園施設の充実を図る。 ・安全・安心・快適な道路空間づくりに向けて、来街者を目的地まで円滑に案内・誘導するため、公共サインを整備する。 ・子育て世代が住み続けたいと思う魅力あるまちづくりに向けて、子育て支援施策を充実させる。	事業を追加するにあたって、指標「次代を担う世代が住みたいと思う環境が整備されていると感じる市民の割合」を1つ追加した。					
		提案事業	—	—	—					
	交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	—					
変更	—	—	—	—						

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	通行者数	人/日	478,178	H22	497,721	H28		391,080	△	あり	● 現在、整備中の事業があるため、現時点では十分な整備効果が発揮できていない。また、計画策定時にはパーソントリップ調査結果が出ておらず、市民の外出率の減少傾向が反映できなかったため、結果的に目標値の設定が過大となり、目標達成ができなかった。 しかしながら、事業箇所周辺の通行量を分析すると、調査値の増加若しくは減少の緩和が見られた。さらに、街頭アンケート調査による「駅周辺のにぎわい」に対する満足度は増加しており、にぎわいのある駅周辺の環境づくりに向けて、一定の整備効果が見られた。	平成29年10月
										なし			
	指標2	道路に関する満足度	%	48.9	H23	57.2	H28		58.4	○	あり	— JR高槻駅周辺の整備や道路事業を重層的に行ったことで駅周辺の魅力や安全性、快適性の向上につながり、道路の満足度が増加した。 特に、子育てに関わる30～40代、70代以上の高齢者世代の満足度の増加率が高く、誰もが安全・安心に移動できる快適な道路空間づくりに向けて、整備効果が見られた。	—
										なし			
指標3	市民交流施設の利用者件数	件	36,111	H22	37,170	H28		37,263	○	あり	— 市民交流施設の整備やバリアフリー化を行うことで施設の利便性が向上し、市民交流施設の利用件数の増加に寄与した。 また、新たに整備された桃園コミュニティセンターでは、食育講座や子育てサロンといった交流活動が行われるとともに、高槻市立文化会館(高槻現代劇場)では、ジャズストリートの会場となる等、市民協働に関わる事業が実施され、より市民の交流や活動を活発化させた。	—	
									なし				
指標4	次代を担う世代の満足度	%	73.5	H22	74.5	H28		72.6	△	あり	● 平成27年度の暫定値(全世代)では従前値を下回っているが、年代別にみると20代、30代は従前値を上回っており、保育園施設や市民交流施設等の重層的な整備効果が、とりわけこの世代に顕著に見られた。 また、子育てに関する指標である「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じる割合も増加しており、整備効果により、次代を担う世代の満足度が高まったと考えられる。	平成29年12月	
									なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	駅周辺のにぎわい	%	68.8	H23				75.3			高槻の玄関口にふさわしいにぎわいのある駅周辺の環境づくりが行われ、にぎわいを実感する人の割合が増加した。	
	その他の数値指標2	子どもが健やかに育つ環境が整っていると思う割合	%	63.9	H22				71.7		保育園施設や市民交流施設等の整備を重層的に行ったことで、子育て環境が向上していると感じる割合が増加した。		
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	*高槻を代表するイベント「高槻ジャズストリート」や「高槻バル」等の官民連携のイベントが定期的で開催され、都市再生整備計画による駅周辺のハード整備の推進と併せて相乗効果を発揮し、にぎわいの創出が図られている。												

		実施内容	実施状況	今後の対応方針等		
5)実施過程の評価	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	住民参加プロセス	高槻市中心市街地活性化協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた	● 都市再生整備計画事業の交付金を活用した魅力ある拠点づくりを進めることとあわせて、中心市街地の活性化に向けて、魅力ある店舗の創出や中心市街地での購買力の向上に繋がる取組を行うことで、高槻の玄関口にふさわしい駅周辺の賑わいあるまちづくりを進めていく。	
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
		高槻市子ども・子育て会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた	● 本計画のエリアにおいては、(仮称)高槻子ども未来館が開館するなど、子育て世代向けの機能が充実していく予定である。本会議で、子どもや子育て家庭を取り巻く現状やニーズにあわせた教育・保育の提供体制の確保について評価・提言等を受け、必要に応じて、都市再生整備計画に反映させることで、より子育てのしやすいまちづくりを目指す。	
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	事業者、交通事業者、大学関係をはじめとする多様な関係者による高槻市中心市街地活性化協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた	● 都市再生整備計画事業の交付金を活用した魅力ある拠点づくりを進めることとあわせて、中心市街地の活性化に向けて、魅力ある店舗の創出や中心市街地での購買力の向上に繋がる取組を行うことで、高槻の玄関口にふさわしい駅周辺の賑わいあるまちづくりを進めていく。	
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
市民や障がい当事者、商業団体をはじめとする多様な関係者による高槻市バリアフリー基本構想継続協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた	● エリア内の回遊性を高め、にぎわいのある安全・安心・快適な道路空間づくりを実現するため、今後も継続して道路や建築物などのハード面のバリアフリー整備と併行し、心のバリアフリー醸成を高めるソフト事業に取り組む。		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

